

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		たばこ販売店団体活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	産業振興部	課長名	古庄 一也	
	施策	12	商工業の振興				所属課	商工振興課	担当者名	渡辺 良輔	
	基本事業	34	生産・販売力の強化				所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1272	
予算科目		会計一般	款7	項1	目2	事業連番11434	法令根拠				
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	肥後大津たばこ販売協同組合と西合志町煙草小売振興会のボランティア活動の様子を市の広報誌に掲載し、たばこを市内で購入するよう市民に対して啓発する。 肥後大津たばこ販売協同組合（菊陽町、大津町、西原村、旧合志町）及び菊池たばこ販売協議会（菊池市、鹿本郡、旧西合志町）の設立に伴い町単位での下部組織が設立され取組みが始まった。 健康増進法の制定施行に伴い喫煙場所の減少及び喫煙マナーの強化 健康ブームによる喫煙者の増加 TASP0導入
【業務の流れ】	ボランティア活動の様子を取材し広報誌に掲載。肥後大津たばこ販売協同組合からの負担金申請受付、支払。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】 関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	マナーアップのため県道、市道沿いのたばこの吸い殻等を拾いのボランティア活動を良くやっている。平成20年5月にスタートした「成人識別たばこ自動販売機購入」に伴い、コンビニエンスストアで購入する人が増え、小売店の売上が減少する。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
ボランティア活動（清掃作業）を取材し、市の広報誌に掲載した。		22年度実績を基に23年度も引き続き同様の活動を展開していく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア ボランティア活動回数	回	前年度が骨格予算であったことによるものであり、事業内容による増減はない。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
肥後大津たばこ販売協同組合 菊池たばこ販売協議会		→ ア 肥後大津たばこ販売協同組合の加盟数 社
		→ イ 菊池たばこ販売協議会加盟数 社
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
会の活動をPRすることで、会員の意識向上、市民へのPRに繋がる。		→ ア 広報掲載回数 回
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
会の活動を市広報誌に掲載しPRすることで、たばこを市内で購入するよう市民に対して啓発する。		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標		ア イ	回	2	2	2	2	2	2	2	2		(期間限定複数年度のみ記載)
② 対象指標		ア イ	社 社	25 30	25 30	25 30	87 30	25 30	25 30	25 30	25 30		
③ 成果指標		ア イ	回	1	1	2	1	2	2	2	2		
投資 入費 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円									
			地方債	千円									
			その他	千円									
			繰入金	千円									
			一般財源	千円				90	90	90	90		
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	90	90	90	90			
			(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	90	90	90	90		
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	2	2	2	2	2			
		延べ業務時間	時間	22	4	15	5	15	15	15			
		(B)人件費計	千円	88	15	59	20	61	61	61			
トータルコスト(A)+(B)				千円	88	15	59	110	151	151	151	0	

事務事業名	たばこ販売店団体活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ボランティア活動（清掃活動）を行うことで、広く市民にPRできていることから目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 市民に広くPRするためにも活動回数を増やす。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他町村も負担金を支出しており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 取材、広報誌への掲載のみであるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ボランティア活動であり市民に広くPRできる。また、地元でのたばこ購入者が増えれば、たばこ税の収納も増え、不特定多数の人に還元できるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会の活動を市が取材し、広報誌に掲載するなどのPR事業であるため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

会の活動取材し、広報誌に掲載しPRできた。23年度は取材回数を増やしたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 活動回数を増やし、活動内容を広報誌に掲載しPRすることで、たばこを市内で購入するよう市民に対して啓発したい。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 喫煙者のマナー向上、小売店での購入を伸ばすため、活動回数を増やす等PRに努める必要がある。旧町単位の団体で上部団体（支部）が異なるため、統合は難しい。																							